

公益財団法人

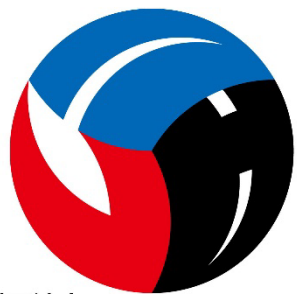
日本バレーボール協会

グッドコーチングセミナー

わが国の  
バレーボールの  
素晴らしき未来  
に向けて

法政大学 山田 快

指導普及事業本部  
体罰・暴力・ハラスメント撲滅対策部



公益財団法人  
日本バレーボール協会

【パート1】

プレーヤーズ  
センタード

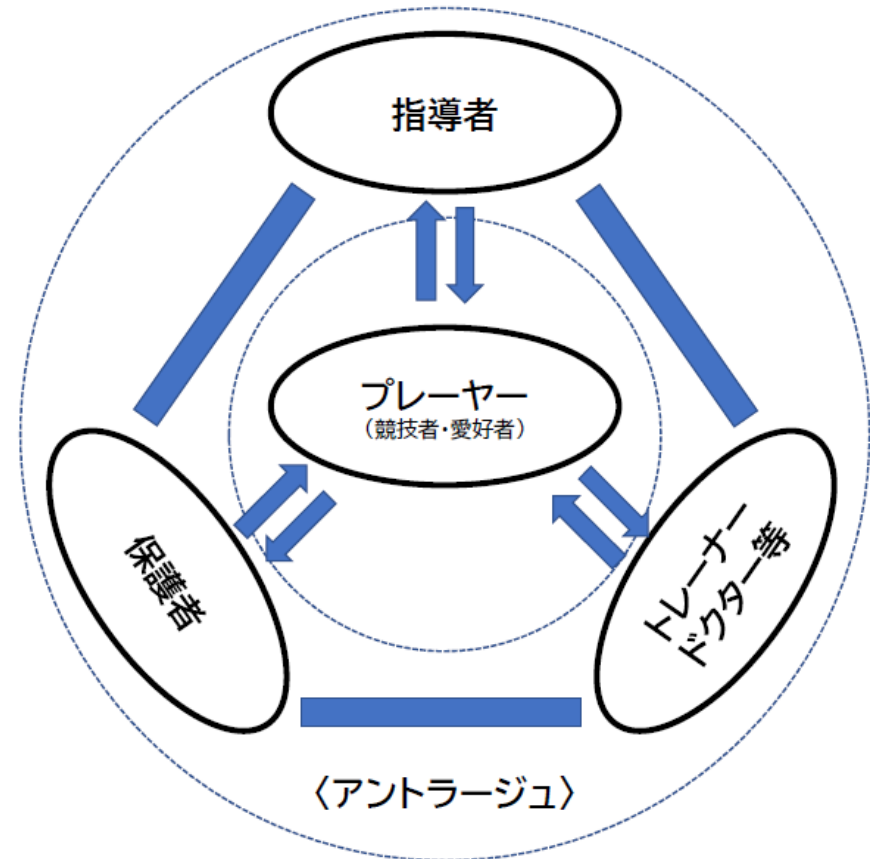
# スポーツ（バレーボール）の主役は誰か

- スポーツに携わる全ての人々
  - そこに優先順位は存在しない（「みんなのもの」）
- ただし、「スポーツを『する』」ことで、スポーツの価値が最大限享受できる」（スポーツ基本計画、2017）ならば…
  - **スポーツは「する」人がいて初めて成り立つ活動であるため、プレーヤーの存在なくして語ることはできない！**

# プレーヤーズセンタードとは

「プレーヤーを取り巻くすべての関係者（アントラージュ）自身も、それぞれの Well-being（良好・幸福な状態）を 目指しながら、プレーヤーをサポートしていくという考え方」（日本スポーツ協会、2020）

→ **プレーヤーの主体的な学びを支援し、包括的な人間的成長を導く**



【全体が高まる・成長する】

松尾（2019）

# プレーヤーズセンタードが目指すもの

【理念】 Players Centered : プレーヤーをスポーツ活動の主体（中心）に位置づけること

具体的には？

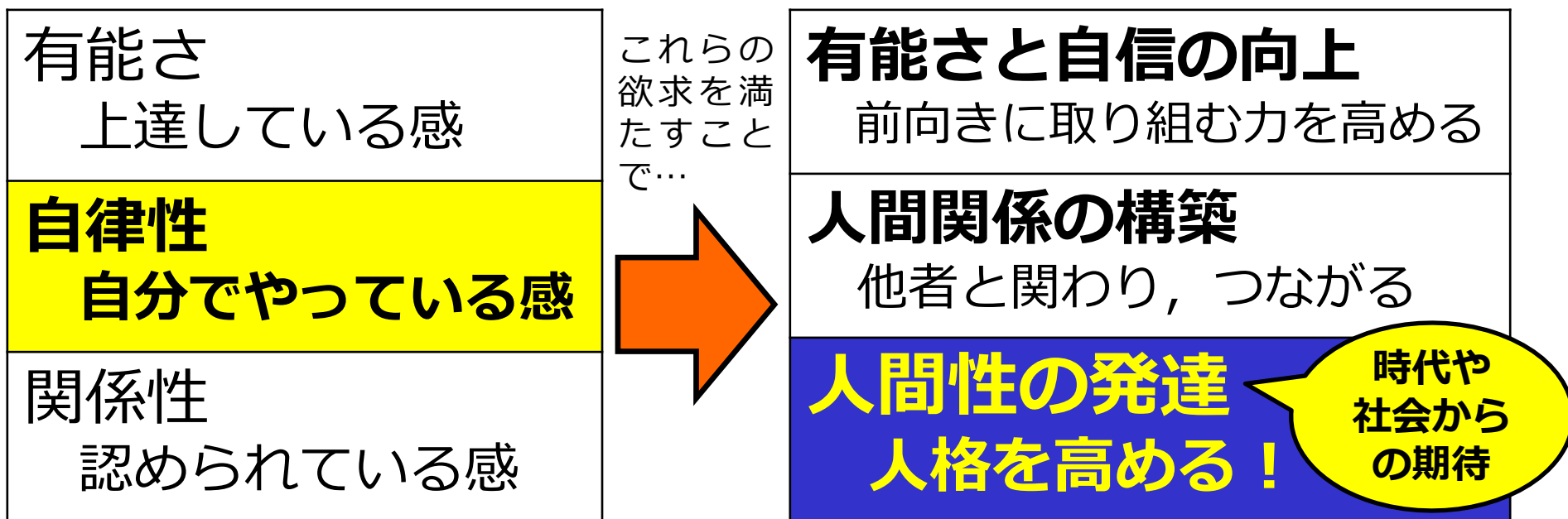
- プレーヤーの人格を大切にする
- プレーヤーのやりがい（喜びや幸福感）を大切にする
- プレーヤーに考慮（意思決定）させる
- プレーヤーの「字ひ」を大切にする



【目的地】 スポーツを通して人生を豊かにすること

# プレーヤーズセンタードのプロセス

【原則】プレーヤーを尊重する（佐良土, 2019）  
→ 支援に先立ってプレーヤーの欲求を優先する  
（Vinson and Bell, 2020）



# アントラージュの存在

プレーヤーの「思考」と「行動」の間に橋をかける存在

プレーヤー

そもそも、自走する能力を備えている！

- 思い
- 欲求
- 望み
- 知識 etc.



= 成長・喜びや幸せ  
を得るための努力



思考

アントラージュ  
プレーヤーの足場をつくる

行動

# アントラージュの役割

自らをプレーヤーの環境の一部と位置づけ、プレーヤーがパフォーマンスを最大限に発揮して、自然と有能になれる環境づくりに徹する（伊藤，2016a）





# プレーヤーズセンタードを実現するために

プレーヤーズセンタードに絶対的な基準  
や法則など存在しない

→ 「プレーヤーにとって」を問い、追い  
求め続ける



絶えずプレーヤーに寄り添って対話し、  
ともに歩もうとする、その「姿勢」こそ  
がプレーヤーズセンタードを実現する！

